

アジャスタブル スポットクーラーの取り扱いについて

供給空気圧	性能上効果的な供給圧力は6~7kg/cm ² です。 空気消費量は708 ℓ/min (at7kg/cm ²)です。
配管寸法	3/8 (内径) のI7-ホースを御使用下さい。
エアフィルター	ドレンフィルターの御使用をお勧め致します。 * この場合本機との距離は出来るだけ短くして下さい。
冷風の使用	本機は圧縮空気を供給すれば、直ちに冷風を出します。 吐出空気温度は、温度調節バルブを回して調節することが出来ます。 温度が下がると、吐出空気量は少なくなります。 ジェネレーター(内部にある白いプラスチックの部品)を交換する事により、冷却能力 252kcal(425 ℓ/min) ~ 504kcal(850 ℓ/min)で使用できます。 冷却箇所により二種(丸、角)のノズルを使い分けて下さい。 ホースキットは出来るだけ短く、又対象物には出来るだけ近づけて下さい。 電磁弁等を利用し、周期的な圧縮空気のON/OFF制御をおこなえば空気消費量の 節約が可能です。 冷風量の調節は供給圧力を調節することでも可能です。 * 圧力を低くすれば、冷風量及び空気消費量も少なくなります。
保 守	アジャスタブル・スポットクーラーには動く部品はありません。 エアフィルターを正しく使用されておれば保守は通常必要ありません。 但し、内部のクリーニングが必要になった場合は次の手順で行って下さい。 ① フレキシブルホースを外す。 ② 冷風マフラーをピンチ(穴)を利用し、本体からはずして下さい。 ③ 本体の部品(ジェネレーター、リング etc)を取り外して下さい。 汚れていないか点検し、必要に応じて洗浄して下さい。I7-ガン等で水分や塵等除去して下さい。 ④ マフラーは液体に浸けないで下さい。 ⑤ 取り外した逆の手順で組み立てて下さい。

アジャスタブル スポットクーラーが正しく機能しない場合

下記の項目についてチェックをお願い致します。

- ① 供給空気圧 適切な圧力は6~7kg/cm²です。
供給空気圧力が上記圧力になっているか計測して下さい。
供給エアの圧力が低いと性能低下を引き起こします。
- ② 供給空気温度 供給空気温度が著しく周囲の温度より高い場合(圧縮空気が天井の中、炉の近く、直射日光の中等を通過して配管されている等)は、周囲温度と比較して、適切な冷風が得られない事があります。
- ③ 背圧 0.14kg/cm²以下の低い背圧は影響しませんが、0.35kg/cm²の背圧は約3割性能に影響します。
背圧は、セットに含まれるホースキット(#5901)を使うことにより、最小限に押さえることが出来ます。他のホース又はチューブを使用される場合は、内径3/8"以上のものをご使用ください。
- ④ 内部氷結 以下の方法で解決できます。
 - 1) 圧縮空気を供給状態で、温度調節バルブを時計方向に一杯に回す。
 - 2) 圧縮空気の供給を止める。
 - 3) 圧縮空気の配管途中にドライヤーを取り付ける。